

横浜国立大学経営学部軸屋ゼミが セガサミーホールディングスと産学連携セッションを開催 ～イノベーションを身近に捉え、 “自分が担える豊かな社会づくり”を考え提案する～

アントレプレナーシップと未来社会を研究テーマとしている横浜国立大学（学長：梅原出）経営学部軸屋ゼミは、感動体験を創造し続ける総合エンタテインメント企業セガサミーホールディングス株式会社（代表取締役社長グループ CEO：里見 治紀、以下、セガサミーホールディングス）と共同で、イノベーションによる近い未来の豊かな社会を提案する産学連携セッションをトンネル東京(TUNNEL TOKYO)にて開催した。セッションにはセガサミーホールディングス投資マネジメント部にてオープンイノベーションを推進する清宮俊久氏が講師として参加した。アントレプレナーシップとイノベーションを研究する同ゼミの学生たちは、清宮氏から提起された「イノベーションによる近い未来の豊かな社会」に関わる課題について活発な意見交換を行った。

【本件のポイント】

- * イノベーションによる近い未来の豊かな社会生活の実践的探求
- * 産学連携によるイノベーション創出と次世代人材育成の推進
- * 企業と学生の直接対話を通じた、リアルな近未来の社会課題と事業可能性の共有

【セッション内容】

1. セガサミーホールディングスによるオープンイノベーションへの取り組み紹介
2. 横浜国立大学軸屋ゼミの学生によるイノベーション課題の探求とアイデア創出
3. 学生によるイノベーションによる近い未来の豊かな社会を提案

セッションでは、AI やデジタルツイン、気象制御などの近未来に創出可能な具体的なテクノロジーがもたらす社会生活などの幅広いテーマについて議論が交わされた。特に、社会にとっての豊かさの定義や、個人にとっての幸福の意味などの哲学的な議論から創出された論理展開は企業側にとっても新たな気づきとなる。

【セガサミーホールディングス 投資マネジメント部 部長 清宮俊久氏のコメント】

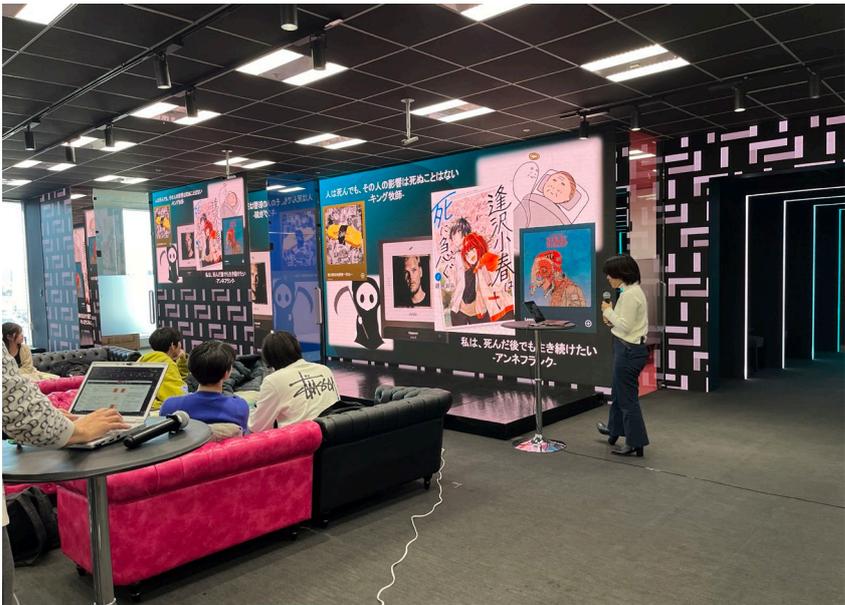
「今回のセッションを通じて、学生たちの柔軟な発想と問題意識の高さに大変刺激を受けた。まず学生が自身の経験の中からイノベーションを具体的かつ身近に捉え、自分なりに“豊かな社会とは”を定義した上で、自らが生み出したいと思うイノベーションを提案する、という課題に対して、学生からの提案は我々の事業領域にも新たな視点を提供してくれた。今後もこのような対話の機会を大切に、長期的な視点で共に豊かな社会を共創していきたいと考えている。」

【横浜国立大学経営学部 准教授 軸屋泰隆氏のコメント】

「今回のセッションは、学生たちにとって近未来のイノベーションを考える貴重な機会となった。特に、イノベーションという抽象的な概念について、学生らしい柔軟な発想でイノベーションを検討し、社会実装に向けたアイデアについて議論できたことは、大変有意義であった。今後も産業界との連携を深め、理論と実践の両面から学べる場を提供していきたいと考えている。」

横浜国立大学経営学部軸屋ゼミと、セガサミーホールディングスは、今後も定期的にこのようなセッションを実施し、産学連携を通じて革新的な技術と事業創造の知見を共有し、近未来の社会を牽引する豊かな人材育成と新たなイノベーション創出に貢献していく。







YNU
横浜国立大学

SEGASammy

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授 軸屋 泰隆

E-mail: jikuya-yasutaka-nm@ynu.ac.jp